

1 目

法人（事業所）理念		法人： 発達に凸凹のある こどもたちの未来を 私たちで創造する										
支援方針		1.療育から未来の「働く」までを支援させていただきます。 2.ABA法を中心とした療育の中で実体験を通じて自己肯定感を高めながらお子さまの自信の創出へと繋げていきます。 3.不登校や学校への行きづらさを抱える中高生に向けた居場所づくりと個人に合わせた支援方法で学習支援を行い、高卒資格取得までをサポートさせていただきます。 4.好きなことや得意なことを伸ばし、その部分を将来の「働く」や社会につなげるようサポートする。（技術の積み上げ）										
営業時間		平日 土曜日	12 9	時 30	30 分	19 17	時 15	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	※土曜日はなし
サービス提供時間		平日 土曜日	13 10	時 00	30 分	17 16	時 00	30 分	まで			
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	○定期的な心身の把握（毎回検温・気分の把握） ○生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所） ○構造化を意識した教室のレイアウト・提示・支援等（視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示） ○SSTによる危機認知スキルの向上 ・IT機器の適切な活用によるバランスの取れた生活習慣（活用時と休止時でのバランスを養う） ・時間の管理（時間をみて行動できるような習慣づけ）										
	運動・感覚	○IT（PC）分野でのタイピングを通じて、感覚的にキーの場所を覚えながら目と手の協調作業を行う（手眼協調） ○開く姿勢をとることや挨拶を定期的に行うことで、精神的な安定と運動能力の向上を目指す ○感覚過敏等に応じた環境設定										
	認知・行動	○小集団でゲームをすることで適切な行動形成（認知の偏りに配慮） ○認知形成（天気・日付の把握と確認による感覚・数の認知形成） ○プログラミングを学ぶことでプログラミング的思考（論理的思考）を育てる（順序だてて物事を考え行動する力） ・見通しをつけた時間の過ごし方や気持ちの切り替え方法 ○IT療育を通じて空間認知能力を養う ・他児との適度な距離間の確認										
	言語 コミュニケーション	○挨拶や場面にあった言葉使いができるように、場面ごとのロールプレイを行う ○SSTやプレゼンテーションを通じて、自分の思いを言語化し、わかりやすいように伝える工夫をすることで、聞いてもらう相手を意識した言葉使いを身に着ける										
	人間関係 社会性	○IT療育や学習支援を通して、「できた！」を積み重ねることで自己肯定感の向上を目指す ○小集団で行う遊びを通じ、異年齢で関わり合うことでお互いから学びを得、互いを認め合うことの大切さを学ぶ（社会の中で大切なこと） ・SSTで社会でのルールをクイズ形式で楽しみながら取り組む ・シチュエーションごとにロールプレイ										
家族支援		○現状の理解及び、保護者との認識を統一し支援が行えるよう、保護者のニーズに応じた面談を定期的（随時）に実施 ・児童の発達・支援内容に関する相談・助言等 ・集団生活や家庭生活に関する相談・助言等 ・制度に関する相談・助言等 ・進路に関する相談・助言等						移行支援		○ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 ・事業所で支援し、習得した行動をほかの場所でも同様の行動ができるように一般化を目指した支援を行う		
地域支援・地域連携		○相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 ○学校や医療機関、他併用利用先との情報共有						職員の質の向上		○事業所内研修・外部研修の派遣、勉強会等 ○定期的な会議の中で質の向上を目指している ・療育方法（5領域を含む）・支援内容・制度		
主な行事等		○児童が主体的に考え実行するイベント										